

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期高取町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県高市郡高取町

3 地域再生計画の区域

奈良県高市郡高取町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、平成2年に8,831人であったのに対し、令和2年には6,729人となっており、過去30年間で2,102人（24%）の減少が見られる。

年齢3区分の人口推移をみると、年少人口（15歳未満）は平成2年の1,410人から令和2年には610人となり、800人（57%）の減少、生産年齢人口（15～64歳）は平成2年の5,851人から令和2年には3,304人となり、2,547人（44%）の減少となっている。また、老年人口（65歳以上）は平成2年の1,570人から令和2年には2,782人になり、1,212人（77%）の増加が見られる。

出生数は、平成29年の26人から令和2年まで緩やかに減少しており、令和3年に微増したものの、令和5年には12人となっている。死亡数は、平成29年の75人から平成30年に109人へと大幅に増加し、その後はわずかな増減を繰り返しながら、令和5年には118人に達している。

社会動態を見ると、平成29年の転入者数は222人であり、令和5年には168人に減少している。また、転出者数も減少傾向にあり、平成29年に257人、令和5年には195人となっている。平成29年から令和5年までの間では、令和元年および令和4年において転入者数が転出者数をわずかに上回ったものの、その他の年（平成29・30年、令和2・3・5年）では転出者数が転入者数を上回っている。

全国的に出生数の減少や、都市部への転出が進む中で、本町においても、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの

衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、結婚・出産・妊娠・子育ての希望の実現を図り、自然増に繋げる。また、地域の産業を守り、先人たちが築いた豊かな伝統と文化を継承し、魅力ある地域資源として活用することで、転出を抑制し、都市部からの移住を促進し、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

基本目標 1 健全な財政運営で未来が輝く「高取町」

基本目標 2 安全・安心な「高取町」

基本目標 3 生活しやすい「高取町」

基本目標 4 いつまでも生き生きと暮らせる「高取町」

基本目標 5 にぎわう「高取町」

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	将来負担比率	16.9%	0.0%	基本目標 1
	町税の滞納額の減少	100.0	77.5	
	ふるさと応援寄附金の受 入れ	7700万円	1億円	
	L I N E 登録者 (町内限 定)	6.4%	12.0%	
イ	刑法犯罪認知件数	14件	12件	基本目標 2
	防災訓練の実施回数	0回	3回	
	災害用ドローンの活用 に係る「無人航空機操縦者 技能証明」取得者数	1名	6名	
	防災拠点の整備数	0棟	1棟	

	町内の交通事故（人身事故）件数	7件	6件	
ウ	赤ちゃん広場（乳児相談）利用率	72.2%	75.0%	基本目標3
	国保 特定健診受診率	45.5%	51.0%	
	受診件数の適正化（1人当たりの受診件数）	17件	20件	
	自殺者数	1人	0人	
	子ども見守り隊の隊員数	109人	120人	
	障がい者福祉サービス利用者数（障がい者分）	95人	110人	
	新生児訪問利用率	100%	100%	
	幼稚園での預り保育希望者の受入れ率	100%	100%	
	教育環境に対する保護者満足度	78.3%	80.0%	
	全国体力運動能力運動習慣調査で県平均を上回る種目数	21種目	25種目	
	生涯学習教室数	14教室	20教室	
	体育施設の利用数	69%	75%	
	要介護認定率	15.5%	21.0%	
	血圧160/100mmHg以上のうち未治療者の状況把握と医療機関受診勧奨後の受診率	40%	55%	
エ	LINE予約システムサービス件数	1件	5件	基本目標4
	しごとコンビニ稼働者数	3,076人	3,800人	

	差別をなくす町民集会参加者数	222人	240人	
	空き家リフォーム工事補助金の交付決定件数	4件	15件	
	移住支援についての補助件数	4件	6件	
	合併処理浄化槽の設置件数	6件	6件	
	修繕済橋梁の割合	38%	69%	
	公共下水道計画区域の面積普及率	71%	75%	
オ	町観光交流客数	25.2万人	30.0万人	基本目標 5
	土佐街道美装化率	0%	100%	
	壺阪山駅乗降客数	32万人	35万人	
	絵柄付ナンバー交付数	0枚	300枚	
	与楽古墳群、市尾墓山古墳及び文化財展覧会の年間来訪者数	400人	800人	
	高取町魅力再発見講座の実施回数	1回	4回	
	年間施業面積	9.07ha	10ha	
	有害鳥獣捕獲数	363頭	400頭	
	企業誘致件数	1件	1件	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

高取町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 健全な財政運営で未来が輝く「高取町」事業
- イ 安全・安心な「高取町」事業
- ウ 生活しやすい「高取町」事業
- エ いつまでも生き生きと暮らせる「高取町」事業
- オ にぎわう「高取町」事業

② 事業の内容

ア 健全な財政運営で未来が輝く「高取町」事業

財政状況の安定を図り、親しみやすく信頼される役場づくりを推進する事業

【具体的な事業】

将来負担を見据えた計画的な事業推進と事業の平準化、広報誌、折込チラシ、ホームページ、LINE、SNSによる町の情報発信、役場施設の美化 等

イ 安全・安心な「高取町」事業

住民が安心して暮らせる環境を維持・向上させることを目的に、防犯対策、防災・減災、交通安全対策等を推進する事業

【具体的な事業】

防犯電話（迷惑電話防止）購入費の助成、防災訓練の実施、交通安全施設の整備 等

ウ 生活しやすい「高取町」事業

多様な世代が生きがいを持って働くことができるよう、ライフステージに応じた施策を実施し、定住促進と地域の活力維持につなげる事業

【具体的な事業】

結婚新生活への支援、がん検診の実施（個別、集団）、生活困窮者への支援、障害者の社会参加と自立への支援、子育て世代包括支援センター（母子保健型）機能を生かした相談サポート体制の充実、幼稚園

での英会話学習の実施（ALT（外国語指導助手）活用）、生涯学習教室の実施、高齢者見守りあんしんシステム（緊急通報システム）の充実等

エ いつまでも生き生きと暮らせる「高取町」事業

生活利便性や人権意識の向上といった生き生きと暮らせる環境を整え、生活インフラの整備・維持管理、空き家活用に向けた支援を行うことで、持続可能な地域社会の形成をめざす事業

【具体的な事業】

祝日ごみ収集（可燃ごみ）、LINE予約システムを用いた住民サービスのデジタル化、高取町能力活用バンクの活用（豊富な知識や技能を持った人の登録、地域教育力の向上や地域社会の活性化等への活用）、人権意識と人権擁護思想の普及啓発、空き家対策の補助（解体、家財処分、リフォーム）、移住支援金の支給、高取町流域関連公共下水道整備計画の推進 等

オ にぎわう「高取町」事業

農林商工業への支援及び歴史文化資源の保存と活用、観光の推進を行うことで、町のにぎわいを作り出す事業

【具体的な事業】

観光大使との観光PR連携、土佐街道カラー舗装の補修、高取城跡周辺の整備（登城道整備、景観支障木伐採、除草作業）、与楽古墳群の雑木伐採及び除草の実施、貝吹山～寺崎白壁塚古墳周遊ルート除草の実施、新規就農者受入等による耕作放棄地の解消、高取町のPRや企業との交渉による企業誘致 等

※ なお、詳細は第2期高取町総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,000,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を

決定する。検証後は速やかに高取町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで